

会 議 記 録

件名	令和5年度第4回芦別市部活動改革検討協議会		
日時	令和6年3月27日(水) 18:00～19:30	場所	市役所3階第1会議室
出席者	<p>■検討協議会委員 会長、委員12名(欠席6名)</p> <p>■教育委員会 教育長、学務課長、体育振興課長、学校教育係長、社会教育係長、体育振興係長、学校教育係主査、体育振興係主事</p>		
内 容			
<p>1 開会(学務課長)</p> <p>2 会長あいさつ 皆さんこんばんは。年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 今年度第4回目の検討協議会になります。大変大きな課題に対する協議になりますが、委員の皆様方には、後ろ向きにならず前向きに、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第3回検討協議会結果</p> <p>(2) 競技団体等との意見交換結果</p> <p>(3) 中学校との意見交換結果</p> <p>(4) 今年度の活動のまとめ</p> <p>(5) 次年度の活動計画 事務局より資料に基づき説明(5件一括)</p> <p>【会長】 議事の(1)第3回検討協議会結果として、資料1の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p> <p>【会長】 議事の(2)競技団体等との意見交換結果として、資料2の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p> <p>【会長】 議事の(3)中学校との意見交換結果として、資料3の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。</p> <p>【委員(公募委員)】 芦別中学校、啓成中学校で質問項目が違う理由を教えてください。 先生方にアンケートを実施するのであれば、質問項目を統一した方が良いと考える。</p> <p>【事務局】 市教委から質問内容の例として示したのが、啓成中学校の質問項目である。 啓成中学校はその項目に沿って回答していただいたが、芦別中学校は、記述式では回答が集まらなると考え、先進地のアンケート内容を参考にし、独自で選択式のアンケートを作成した。</p>			

内	容
【会長】	議事の（４）今年度の活動のまとめとして、資料４の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。
【委員から特に意見なし】	
【会長】	議事の（５）次年度の活動計画として、資料５の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。
【委員から特に意見なし】	
4	意見交換
【会長】	次に、意見交換ということですが、今年度最後の会議になりますので、委員の皆様にご発言いただきたいとします。 先ほど事務局より今年度の活動のまとめや、次年度の活動計画として、地域クラブの骨子などについて説明がありました。 芦別市としては、令和７年４月から可能な競技・種目から部活動の地域移行をスタートさせたいとのことでしたが、今後は、そこに向けて、中学校や保護者に対しても説明が必要になってくると思います。 委員の皆様方も１年間この会議に出席されて、或いは、先進地の事例なども見てきて、様々なことを感じていらっしゃると思いますのが、この意見交換では、令和６年度の検討協議会の進め方ですとか、今後の中学校の部活動の在り方、さらには地域クラブの内容など、どのような観点からでも結構ですので、お話しいただければと思います。お時間の都合もごございますので、お一人さま２分以内でお願いします。
【委員（スポーツ・文化団体関係者）】	検討スケジュールには、部活動の地域移行に向けた検討の部分で、「休日」と記載してあるが、休日を前提に検討するという理解で良いか。
【事務局】	第１回目の検討協議会において、まずは、休日からスタートさせたいということでお知らせさせていただいたが、その後、委員の方々から、休日と平日の指導者が異なることでの問題点や、合わせて、平日も含めて考えてみてはどうかという意見があったので、令和６年度は休日に限らず平日も含めて検討していきたいということでの提案となっている。
【委員（スポーツ・文化団体関係者）】	休日だけで進めるとなると、結局は、中学校の顧問の先生が指導することになってしまうと思う。平日も含めて考えた方が良く思っており、地域に一般の指導者がいれば平日も休日ともなるが、一般の指導者がいなければ、教員が指導することになってしまうので、指導者をどう確保するかが重要になってくると考えている。
【委員（学校関係者）】	自分の中学校でいえば、自分が経験してきたものを指導している先生は２人しかいない。これが実態だと思う。中学校の教員になると部活動は切っても切れないものと判断されて、経験してこなかった競技でも急に部活動の顧問としてお願いされてしまう。それが、私生活にまで影響してしまう。昔は７日間休みがなかった。４０代以上の先生はこれが当たり前として受け止めるが、平成１０年生まれ以降の先生は、そこまで経験していないので、普通に「できません」と断られる。それを４月に校長が「子どもたちのため」ということで、先生方に頭を下げて顧問を担当してもらっている。このような中で、休日の部活動の地域移行に期待することは、技術指導していただけるとありがたいと思っているので、まずは休日でも良いのでスタートしていただければと思う。 ただし、先生方も経験がないなりに自分で勉強して指導しているのでプライドがある。プライドを持つと、地域の指導者と指導方法でぶつかってしまうこともある。令和６年度に検討し

内

容

ていくが、先生方の負担が減る取組であるので、先生方を説得するしかない。

【委員（学校関係者）】

資料5と資料5-1はリンクするものだと思うが、若干、揺れがあると思っており、平日を含めるのか、休日だけなのか、整合が図られていないところがある。種目についても、中学校にある部活動について考えるのか、それとも子どもたちのニーズを含めて整備をしていくのかなど、計画とたたき台をリンクさせながら、令和7年4月に実施できるように、来年度は一つひとつの会議で詰めていければ良いと考える。

【委員（学校関係者）】

今年度会議を重ねて、だんだん具体的になってきていることが大きな前進だと感じている。種目の整理もついてきたし、中学校の先生方の声も拾っていただけたことが良かったと思っている。高校の教員も大体同じだと思う。一方で、高体連、高文連があるが、大会の運営は教員が担っているので、当番校になると事務負担が増える。これらは、部活動が地域移行されても高体連等がなくなる限り変わらない。このような中で、地域の方々に技術指導を担っていただけると、高校としてもありがたいと思っている。次年度は具体的に詰めていって、100%は無理なのでできることからまずはやってみることが大事になると考えている。

【委員（学校関係者）】

先進地視察や教員のアンケート、競技団体との意見交換などいろいろと出てきて、先が少し見えてきたなという印象を持っている。これからは具体的に何かを会議で一つずつ決定して、次の会議ではこのことを決めていけるといふふうに進んでいくとスピーディーに進んでいくと思っている。

【委員（PTA関係者）】

保護者の視点になるが、中学校の先生が経験のない競技を受け持つという話があった。自分としては、子どもが中学校に行くと部活動に入り、技術やいろんなことを学んでいくことが当たり前だと思っていた。先ほどの中学校から説明があったように若い先生たちの話を聞くと、それが当たり前じゃなくなっているとのことなので、そのような状況を保護者にも理解していただき、だから地域移行が必要だということを周知していくことが大事だと考えている。

そのうえで、指導できる方が、中学校でも指導していくことで穴がなくなると思っている。そのように進めていただければと思っている。

【委員（PTA関係者）】

自分の子ども達も部活動に所属していたが、大会が続くと月に2回、3回ある時があるので、先生方との意見交換の内容を見ると、負担をかけていたことを改めて実感した。休日の地域移行という部分であるが、競技団体との意見交換を見ると平日の指導も可能な団体もあるので、できる部分から実施すれば、先生方の負担もなくなるし、子ども達も専門的な指導を受けることができるので、すべてのスタートラインを一緒にしなくても、できる部分から取り組めたら良いと思っている。

【委員（公募委員）】

検討協議会に参画して、先生方の話なども聞いて大変勉強になった。団体によっては平日も休日も対応できる場所もあれば、難しいというところもある。吹奏楽団は、平日は協力できても休日は難しいので、団体のニーズと学校のニーズをすり合わせる必要があると思っている。来年度の検討スケジュールを見ると10月ころまでにある程度形を固めなければならないということでタイトになってくると思っているが、いろんな議論をさせていただいた中で、自分としても協力させていただきたいと考えている。

【委員（公募委員）】

地域クラブの立ち上げ時期を知りたいと思っている。また、地域クラブは体育協会と文化連

盟がつくることになるのか。

【事務局】

当初は、地域クラブの実施主体を体育協会と文化連盟としていたが、少し形態を変えて、チーム指導を担うため、各団体から指導者を派遣していただく団体として位置づけしている。ただし、あくまでもたたき台なので、令和6年度に委員の皆さんからご意見をいただいて、できる、できないといった話も出てくると思っており、秋口の10月頃には、地域クラブがいつからできるかが見えてきて、検討協議会からいただく提言の中に盛り込まれていく内容であると考えている。

【委員（公募委員）】

これまでの検討協議会での議論や各種アンケート調査を実施して、懸念材料はこれくらいで良いと思っており、これからは、本格的に動き出したことを想定して取組を進める必要がある。一番難しいのは指導者だと思っており、指導者を育成することに時間をかけるべきだと思っている。もうそろそろ、どこかが頭になって指導者を育てることを一年間かけてしっかりとやっていただかないと、保護者の立場としても、多感な時期の子どもを預けることになるため、指導者のことが心配であるため、指導体制を構築する時間をとった方が良いと思っており、実施主体を決めないと、指導者をどうするのかも決まっていけないと思っている。

先ほど中学校の先生から話が合ったとおり、経験のない先生が教えているのであれば、経験のないやりたい人が教えても良いと思っており、教えるレベルも変わらないのではないかと思っている。熱意がある人（指導者）を集めて、そこにしっかりと時間をかける必要があると思っており、力を注いでほしいと思っている。

【委員（公募委員）】

一年間、会議に出席し、先進地視察にも参加して勉強になった。先生方の苦勞もこの会を通して認識することができた。市民吹奏楽団として考えているのは、芦別高校の吹奏楽部とコラボして、令和6年度は我々のスケジュールに合わせてもらって、高校生が参加できるときに参加してもらおうようなことを計画しようと思っている。

その中で、今後、中学生にはどのような指導ができるかを考えていきたい。我々は6時からの活動になっているので、そこに学生が来てくれるかは別問題かもしれないが、我々としてもできることをやって、その状況を皆さんにお知らせできたらと思っている。

【委員（公募委員）】

自分の子どもも中学校の部活動にお世話になっていることもあり、当初は、自分自身が中学校の部活動に何かお手伝いできることがあればという気持ちで、この会に参加したところである。先ほど、指導者の話が出たが、このまちに専門的な指導者がいるかどうかというところがある。スポーツ指導員という資格を持っている方は何名かいるが、専門的な知識をもってそれだけを教えることができる人は実際にはいないのではないかと感じている。

市内ではスキーの指導員の資格を持った人が一番多いと思っている。このような中で指導者をどう確保するかが、今後大きな問題になってくると思っている。

自分の娘のためにとこの会に参加したが、これが出来上がったときには中学校を卒業している。これまでスポーツに携わっていた指導者や保護者は自分の子どもがやっている間だと思う。この会の任期は令和8年までで終了するが、この場に携わったからにはこれを継続しなければならない、また、後継者も育てていかなければならないと思っている。そういったことも含めて、これからは行政がどこまで考えてやってくれるのか、先ほどからひと、もの、かねとあるが、実際にどれだけのお金をここにかけられるのか、やる気があるのかというところは、これから期待していきたい。自分が働いている会社内でも話題になるが、高校で甲子園を目指していた方であるが、まちの状態もわかっている人であるが、高野連、高体連、中体連に

内	容
	<p>出るためにどうしたらよいかといった話になったときに、中学校の部活が機能しないのであればクラブチームをつくって、国や道が高野連への参加を認めるようにするのであれば、地域移行でますますスポーツが盛んになってくると思っている。</p> <p>あとは、子ども達にはやりたいスポーツができるよう、地域スポーツクラブができれば、例えば月曜日はサッカー、火曜日は野球など、現在の括りがなければ、いろんな大会に参加できるようになる。自分の子どもも、部活動で勝ちたい、上達したいと思っている。競技性を求める部分もあると思うが、スポーツを楽しんでもらうためにどうしたらよいかを考えて、地域に根付いたものを持続していくことが、このまちに必要なようになってくると思っており、小学校の子ども達がいろんなことができるまちづくりをしていくと、このまちも元気になると思っている。</p> <p>【会長】</p> <p>最初、会長を仰せつかったときは、どういう方向性で進めていけば、よくわからなかったが、先進地を視察してみて勉強になった。また、検討協議会の中で委員の皆さんから学校やPTA、連盟などそれぞれの立場からご意見を出していただき、少しずつではあるが、明かりが見えてきた。今回、具体的にバスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、吹奏楽は可能性が出てきており、委員の皆さんも、できることから始めようということで、そうしないと前に進まないと思っており、そこで、いろんな課題が出てきたときに、どういう方策でそれを解決していくか、また皆さんで知恵を出していければと思っており、そのことが、子どもたちが参加できる環境づくりにもつながっていくと考えているので、ぜひ、できるところから、実現に向けて取り組んでいただけたらと思っている。</p> <p>【会長】 今、皆さんよりご発言いただきました。皆さんのご発言に対し、事務局から何かあればお話しください。</p> <p>【事務局】 委員の皆さんからはそれぞれの立場でお話をいただいたので、事務局としても真摯に受け止め、令和6年度に向けて、様々な視点、角度から議論していかなければならないと、改めて感じたところである。また、できるところから少しでも実現をさせていかないと前に進まないといったご意見があり、そこに向けては指導者の確保やそれぞれの団体が抱える問題もあると思っているが、できるところから一歩ずつ進めることで、成功事例を積み上げていかないと、この会も前に進んでいかないと思っているので、事務局としても、来年度は5月以降毎月会議を開催するなどタイトな日程になるが、委員の皆さんと連携を図りながら、形として残るように進めていければと思っている。</p> <p>5 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回検討協議会開催について（事務局より説明） <ul style="list-style-type: none"> ※5/13の週を予定している。 ・ 意見集約シートについて <ul style="list-style-type: none"> 次回の会議に向けての意見や本日発言出来なかった事などを記載して事務局へ提出いただきたい。 <p>【会長】 ただいまの事務連絡について、何か、質問・確認等あればご発言ください。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p> <p>6 その他</p> <p>【全体を通して特に意見なし】</p> <p>7 閉会</p>